

## 第3学年 社会科学習指導案

日時 令和4年9月14日(水) 第5校時

対象 第3学年1組 32名

授業者 山西 香織

会場 3階 3年1組教室

### 研究主題

めあてに向かって主体的に学び、考える児童の育成  
～キャリア教育を通して～

#### 1 単元名

「まちの人々の仕事」商店の仕事

#### 2 単元の目標

- ・地域に見られる販売の仕事の様子について、人々の生活と関連付けて理解するとともに、調査活動や地図帳などの資料を通して、必要な情報を調べ、まとめる技能を身に付けようとする。
- ・販売に見られる仕事の工夫や特色、意味を考える力や、考えたことを表現する力を養う。
- ・学習問題を追究し解決するために、地域に見られる販売の仕事の様子について、意欲的に調べ、特色や相互の関連、意味について深く考えたり、調べたことや考えたことを表現しようとしたりする主体的な学習態度を養う。

#### 3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>・消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどについて見学や調査をしたり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、販売に携わっている人々の様子を理解している。</li><li>・調べたことを白地図や関係図などにまとめ、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、問いを見だし、販売に携わっている人々の仕事の様子について考え、表現している。</li><li>・消費者の願いと販売の仕方を比較し関連付けたり、分かったことを総合するなどして工夫を考えたり、学習したことを基に社会への関わり方を選択・判断したりして、適切に表現している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域に見られる販売の仕事について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</li></ul>

## 4 単元設定の理由

### (1)教材について

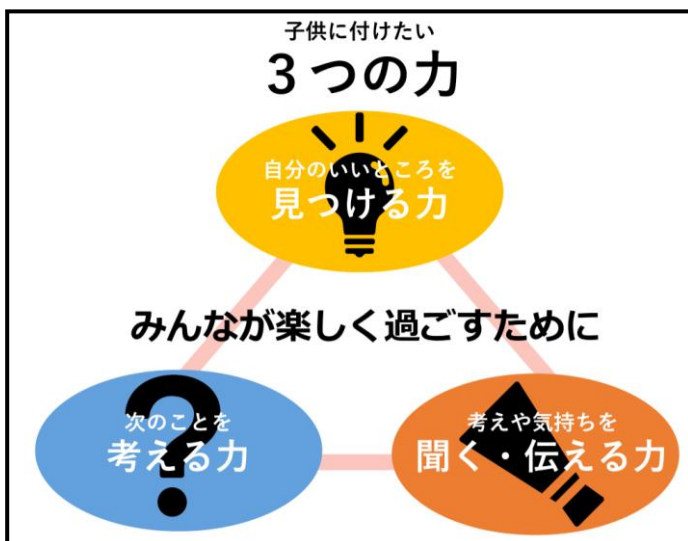
本単元で扱う時間は、学習指導要領には以下のように位置付けられている。

- (2) 地域に見られる生産や販売の仕事について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ① 次のような知識及び技能を身に付けること。
- ア 生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解すること。
- イ 販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解すること。
- ウ 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめること。
- ② 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
- ア 仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現すること。
- イ 消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現すること。

本単元では、教科で目指す資質・能力を身に付けながら、その過程でキャリア教育の視点で「調べたいことや知りたいことを進んで調べる力（課題対応能力）」「考えや気持ちを伝え合う力（人間関係形成・社会形成能力）」も併せて高めていくように学習活動を設定していく。

また、社会科の学習を通して、様々な職業とその仕事の内容、どんな思いをもって仕事をしているかについて知ったり、理解したりすることを通して、キャリアプランニング能力についても同様に高めていけるようにする。

### (2)児童の実態



1学期の社会科「わたしたちのまち」の学習では、練馬区について調べ、ポスターにまとめ、発表することができた。

調べたりまとめたりすることに意欲的に取り組む姿がたくさん見られ、発表の準備や本番にもすすんで取り組む児童が多かった。

しかし、自分の作品や発表に満足してしまい、友達の発表を聞く場面になると、関心をもてずになんとなく聞いている児童が少なくなかったように感じた。

また、特別な支援が必要な児童も少なくなく、日頃の生活の中でもトラブルが絶えず、「考えや気持ちを聞く・伝える力」の必要性を強く感じている。

本時の学習では、児童の考えを伝え合う学習活動の中で、特に「友達の考えや気持ちを聞く力」を育てることに重きを置き、教科のめあてを達成しつつキャリア教育の視点でも児童の能力を高めていけるようにする。

## **5 研究主題に迫るための手だて**

### **(1)自分の考えをもち、主体的に伝える活動**

共通理解がしやすい話題を取り上げ、Google map で店の場所や写真を共有することで、児童の主体的な発言を引き出す。

### **(2) 友達の発表に関心をもち、質問したり感想を伝えたりする活動**

「友達の考えに関心をもつ」ためには、まず友達の考えを「聞く」ことが前提となる。「聞く」ことが苦手な児童にとって、ムーブノートを活用することは友達の意見を視覚的にも捉えることができ、活動に参加しやすくなる。

また、友達の考えに対して、自分の考えを伝えるのが苦手な児童にとっては、ムーブノートの「はくしゅ」ボタンを活用することによって、主体的に参加しやすくなると考える。

## 6 単元の指導計画


過程	目標	時	学習活動	留意事項
つかむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○行ったことのあるお店について話し合おう。</li> <li>○買い物調べをしよう。</li> <li>○表やグラフにまとめよう。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家ではどんなお店で何を買っているのか話し合う。</li> <li>・買い物調べカードの書き方を知る。</li> <li>・買い物調べカードを基に表やグラフに整理し、分かったことや考えたことを話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活経験から買い物の場面を想起させる。</li> <li>・目的によって行く店が違うこと、多くの人が利用する店があることに気付かせる。</li> </ul>
調べる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調べる計画を立てよう。</li> <li>○お店のくふうを調べよう。</li> <li>○様々な人のためのくふうを調べよう。</li> <li>○お店ではたらく人たちの様子をたしかめよう。</li> <li>○品物はどこからきているのか調べよう。</li> <li>○お客さんのねがいを考えよう。</li> <li>○これからの買い物のしかたを考えよう。</li> </ul>	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お店の写真からどのような工夫をしているのか話し合う。</li> <li>・なぜ、お店がよく利用されているのかを考え、調べる計画を立てる。</li> <li>・調べ学習の計画を基に、売り場の工夫について調べる。</li> <li>・様々な人が買い物しやすいように工夫されていることを調べる。</li> <li>・お店の人にインタビューをし、工夫していることを調べる。</li> <li>・品物の産地を調べ、他地域や外国とのつながりを考え、話し合う。</li> <li>・お客さんの願いに対して、お店はどのような工夫をしているのか話し合う。</li> <li>・買い物の時に気を付けることを話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お店の工夫を予想させ、調べ学習の視点につなげる。</li> <li>・お店を調べたり、調べて気付いたりしたことをカードに書かせる。</li> <li>・お店の写真やイラストを用意しておき、具体的に調べたことを振り返る。</li> <li>・品物の産地を地図帳で確認し、地域の人々の生活と他地域や外国とのつながりを押さえる。</li> </ul>
まとめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今まで学習したことをまとめよう。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お店の工夫をまとめ、発表する。</li> <li>・学習を通して分かったことや考えたことを基に新聞にまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習してきたことを基に、自分たちの生活とのつながりを具体的に新聞の記事として残す。</li> </ul>

## 7 本時

### (1)本時のねらい

販売の仕事と自分たちの生活に関わりがあることに興味をもつ。

### (2)本時の展開（1 / 1 2）

	学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点 ◇評価規準 ★研究主題に迫るための手だて
導 入	<b>1 資料の提示。</b> ・スーパーバリューだ。 ・行ったことがある。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">行ったことのあるお店について話し合おう。</div>	・児童が身近に感じる店を選択する。
展 開	<b>2 自分や家族が買い物に行く店について話し合う。</b> ○家の人とよく買い物に行く店はどこですか。 そこでどんなものを買いますか。 ・リビンに行く。食料を買う。 ・コンビニに行く。お菓子をかう。 ・マルエツに行く。食料を買う。 ・イオンに行く。洋服を買う。  <b>3 学習課題について話し合う。</b> ○「商店の仕事」について、どんなことを学習したい （知りたい・調べたい・考えたいこと）ですか。 ・開店前・閉店後に何をしているのか。 ・お客さんの数を知りたい。 ・どのように商品を並べているのか。 ・お店の工夫を調べてみたい。	・Google Maps を使って、知っている店の場所や様子を共有する。  ・ムーブノートに自分の考えを書き込んだり、友達の考えに「はくしゅ」したりする。  <b>★友達の発表に関心を持ち、つけたしたり、共感したりする。</b> （ムーブノートの機能・補助発問）   ◇[態度]地域に見られる販売の仕事について主体的に疑問や考えをもつことができたか。(発表・ムーブノート)
ま と め	<b>4 もっと詳しく調べるための手立てを考える。</b>	

## 成果と課題

①Google map で店の場所や写真を共有することが、考えや気持ちを伝える力の育成に効果的だったか。

### 成果

- ・発言に対して、ネットを活用し、その都度身近なお店を表示することができ、児童の意欲を高めることができた。
- ・自分の住んでいる地域の商店についてほぼ全員が活発に発言することができていた。

### 課題

- ・自分が行く店のことに執着していた児童に対し、店名や商品だけでなく、そこで働く人などに注目させることで見方を広げる手だてを講じる必要がある。

②ムーブノートの活用が、考えや気持ちを聞く・伝える力の育成に効果的だったか。

### 成果

- ・用紙に切り替わったが、黒板に貼られて分類されたことにより、考えに共感したり集中して聞いてできていた。

### 課題

- ・ねらいに応じて、ムーブノート以外のツール（Google Jamboard など）の活用について今後検討していく必要がある。